

特別インタビュー

俳優 山本太郎さん

役者より大切なこと



脱原発で安全な未来を子どもたちへ残そうと訴える山本さん

プロフィール

★1974年11月24日、兵庫県宝塚市生まれ。1990年高校1年生の時に『天才・たけしの元気が出るテレビ!!』のダンス甲子園に出場し、芸能界入り。
 ★1991年、映画『代打教師 秋葉、真剣です!』で俳優デビュー。その後、テレビドラマ『ふたりっ子!』(1996年)、NHK大河ドラマ『新撰組』(2004年)、映画『バトルロワイヤル』(2000年)、『GO』(2001年)など数々のヒット作に出演。俳優以外にテレビ番組『世界ウルルン滞在記』のリポーター、『トップランナー』の司会などで、人気を博す。
 ★『光の雨』、『GO』で2001年度日本映画批評家大賞助演男優賞を、『MOON CHILD』、『ゲロッパ!』、『精霊流し』で2003年度ブルーリボン賞助演男優賞受賞。
 ★2011年4月、脱原発活動を宣言し、活動家へ。主演映画『EDEN』が今春公開予定。

山本さんに「自然エネルギーで需要を賄えるのか」と聞くと、「何をもちって賄えるというんや。子どもの未来を考えたら他に選択肢がないやろ」と言われたのが印象的でした。ところが、ベラルーシへ飛んだら、風景が一変

しました。「病気の花束」を持って生まれてくるようなものと聞かされました。国家体制のせいなのか、原発は仕方ないと少なくない市民が話していました。チェルノブイリ事故ですごい被害を受けたのに、この25年間で何が狂ってしまったんだらうかと思いましたが、

収穫期

後悔はしていないと後悔は全然ないです。こうなってきたら、自分がこの先

ドイツのようになるのか、ベラルーシの方に向かうのか、これからは原発で頑張らなアカンと改めて決意した旅でした。

脱原発を表明したことで、テレビ番組を降板、事務所を辞め、仕事も減ったぞです。

自分が「原発反対」を表明すれば俳優の仕事に影響が出るのは分かっています。収入は10分の1になりました。真綿どころか、電気コードで首を絞められるようです。(笑)。

それでも、3・11が起きて、「生きたい。生き延びたい。このままじゃ生きられない」という思いを抑えられなかったで

たんでしょね。メディアに出る人間はスポンサーに食わせてもらっているのは事実だから。でも命に関わることは別だと思えます。

いまは、自分が感じたことをありのままに表現し、それが受け入れてもらえないなら、それはもうしょうがないんじゃないかと。ちょっとそんなふうに思えるようになって。

人生を終えるとき、自分はいったい何のために生きてきたんだろうって、誰もが考えられると思うんです。仕事で認められたとか、どれだけ稼いだとかじゃなくて、「人としてどうやったか」みたいな総括をです。

これからの人生を考えると、原発をめぐる状況が劇的に変わらな限り、3・11以前みたいな仕事量にはなかなか戻れないでしょう。脱原発の問題に取り組んでいきます。

役者の仕事は好きです。でも、今は最優先課題ではないですね。もっと大切なこととしてこの問題に取り組んでいきます。

子どもたちの未来を奪う危険のあるものはないか、止めないといけないです。被曝のせいで病気になる、命を絶たれてしまうのは、余りに悲しすぎます。

そのためには、皆とつながって巨大な力にしたいですね。

活動のゴールはなんですか?

最終的には政治を介して変えるしかないと思います。政府や東電に早く責任を取らせることで



事故から一年が経ちましたね。事故の究明も、除染も、被害の賠償も、1年経ってもほとんど進んでいません。それなのに、野田佳彦首相はもう、「収束宣言」を出しましたよ。まるで問題が解決したかのような印象を与えかねません。福島で起っていることが、このままでは忘れ去られるのではないかと危惧しています。

脱原発では全国各地で取り組みが広がっています。僕も3・11の事故から声を上げた一人。多くの人が原発をなくすために自分にいま何が出来るだろう、何かをしたいと思

昨年、ドイツやチェルノブイリ、ベラルーシを訪ねられました。福島の事故を受け、ドイツは脱原発に向け政府が舵を切ったところ。ドイツではフランスで再処理された核廃棄物の搬入に抗議する市民集会に参加しました。老若男女2万人が集う会場ではDJが流すレゲエに合わせて踊る人もいて、まるでお祭りです。貨物列車の線路に座り込み、寒い冬の夜を明かしました。

自然エネルギー村では、農業協同組合のお

ところが、ベラルーシのNGOの人たちからは、脳、腸、甲状腺、すべての器官に影響を及ぼす内部被曝の影響で、子



2月の京都市長選では脱原発を掲げる候補者への支持を呼びかけて歩いた



山本太郎 集英社 2012年2月発行